

大雨が降った時

洪水ハザードマップとガイドブックをご準備ください。



手順⑤ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう!

洪水ハザードマップガイドブック10ページに記載した内容を、「わたしの避難計画」に書き写そう!

「災害リスクチェックシート」③【大雨が降った時】「わたしの避難計画」に記載

避難のタイム判定フロー図: 自分または一緒に避難する方、避難に時間がかかる人はいるか(高齢者、抱がいのある方、乳幼児やその支援者など)を確認。Yesの場合は避難レベル3「高齢者等避難」が発令されたら避難開始。Noの場合は避難レベル4「避難指示」が発令されたら避難開始。

わたしの避難計画: 地震が発生した時、津波発生想定区域内であるかどうか、避難のタイミング、安否確認場所、一時避難場所、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された時、大雨が降った時の避難のタイム判定、避難先、情報収集手段、とるべき行動などを記入する。

ガイドブック28ページ、「わが家の避難行動計画」を作成してみましょう。

洪水ハザードマップ・ガイドブックは、市ホームページで公開しています。

焼津市 和田第21自治会

わたしの避難計画 作成ガイド

災害に備えて、「どのタイミングで」「どこに」避難するかを前もって整理しましょう。災害時に自分や家族が「あわてることなく」「安全な場所へ」避難できます。

作り方 手順①～⑥に従って「わたしの避難計画」へ必要な事項を記入しよう。

- 手順① 家族で避難に時間がかかる人を確認しよう! ⇒作成ガイド1ページ
- 手順② 地震が発生した時 ⇒作成ガイド2ページ
- 手順③ 地震や津波の危険性を確認しよう! ⇒作成ガイド2ページ
- 手順④ 南海トラフ地震臨時情報が発表された時 ⇒作成ガイド3ページ
- 手順⑤ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の避難先や情報収集手段を確認しよう! ⇒作成ガイド3ページ
- 手順⑥ 大雨が降った時 ⇒作成ガイド4ページ
- 手順⑦ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう! ⇒作成ガイド4ページ
- 手順⑧ 避難の情報を知るための手段を決めておこう! ⇒作成ガイド4ページ

出来上がりの例(見本)

ガイドに沿ってこれをつくっていくよ!

わたしの避難計画の見本: 津波発生想定区域内である、避難のタイミングは「強い揺れが収まったら」、安否確認場所は「〇〇公会堂」、一時避難場所は「〇〇小学校」、南海トラフ地震臨時情報は「〇〇小学校」、大雨が降った時の避難先は「自宅避難」、避難レベルは「レベル3」。

災害リスクチェックシートの見本: 家族の状況は「避難に時間がかかる人」がいる、地震が発生した時の避難先は「〇〇公会堂」、南海トラフ地震臨時情報は「〇〇小学校」、大雨が降った時の避難先は「自宅避難」。

手順⑧ 避難の情報を知るための手段を決めておこう!

- 報道機関・情報サイトなど
- テレビ・ラジオ
 - インターネット
 - ホームページ
 - スマートフォン向けアプリ
- やいづ防災メール
- 焼津市LINE
- 静岡県防災アプリ
- キキクル(気象庁)
- 土砂災害警戒情報(静岡県)
-

家族に合わせた備蓄をしよう!

避難とは「難」を「避」けること

避難とは、避難所に行くことが全てではありません。今いる場所が安全であれば、そこに留まることができます。安全な場所であれば、自宅や親戚宅、知人宅、宿泊施設も避難先となります。

発行・問合せ先

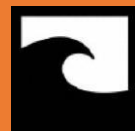
静岡県危機管理部危機政策課 054-221-3731(「わたしの避難計画」全般に関すること)

焼津市防災部防災計画課 054-625-0128(地震・津波に関すること)

焼津市建設部河川課 054-626-1118(洪水・土砂災害に関すること)

手順① 家族で避難に時間がかかる人を確認しよう!

- 「災害リスクチェックシート」①【家族の状況】に記載
- ご自身または一緒に避難する方で、避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
 - 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。



地震が発生した時

手順② 地震・津波の危険性を確認しよう!

「災害リスクチェックシート」
②【地震が発生した時】に記載

<津波浸水想定区域(着色エリア)>



着色されているのは
津波浸水の深さを
あらわすよ



最大浸水深凡例	
5~10m	(Dark red)
3~5m	(Red)
2~3m	(Light red)
1~2m	(Orange)
0.3~1m	(Yellow)
0~0.3m	(Light green)

<津波の到達時間>津波が来るまでの時間を確認しよう!(自宅と避難先の両方とも確認!)



地震発生から
津波が到達する
までの時間だよ



津波到達時間凡例	
5分未満	(Dark red)
5分以上6分未満	(Red)
6分以上7分未満	(Light red)
7分以上8分未満	(Orange)
8分以上9分未満	(Yellow)
9分以上10分未満	(Light green)

ア 上の図を見て、自宅がどこにあるか確認しましょう。
自宅や自宅周辺が浸水区域として色が塗られている場合、
浸水深や津波の到達時間も確認しよう。

イ 確認した結果を「わたしの避難計画」災害リスクチェックシートの
マークの欄にメモしよう。

・津波浸水想定区域の図は、静岡県第4次地震被害想定レベル2の津波浸水想定を表示しています。
・津波到達時間の図は、地震発生後、津波が到達する時間を表示しています。

市ホームページで確認するには

市防災地図や一時避難場所、南海トラフ地震臨時情報発表時の防災行動など、市ホームページで公開しています。

市防災地図



一時避難場所



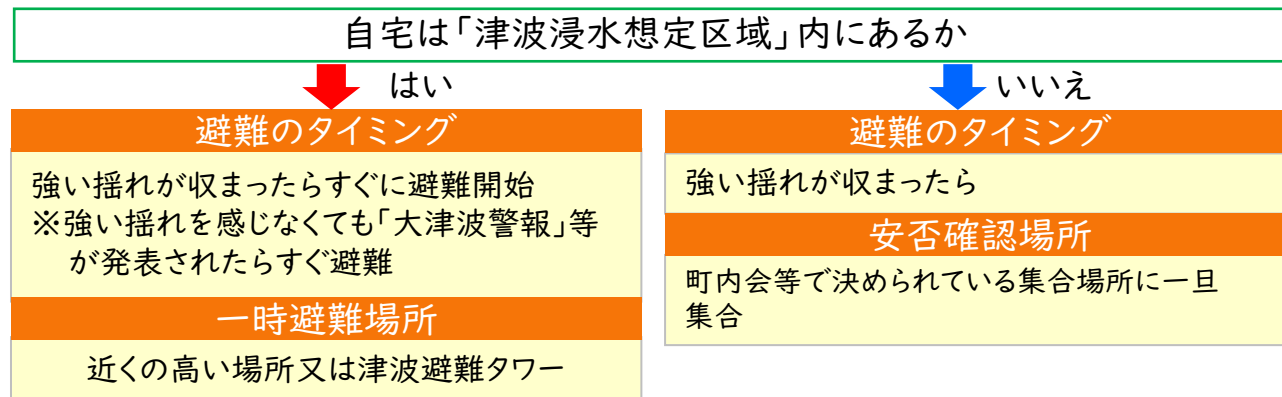
南海トラフ地震臨時情報

(巨大地震警戒)が発表されたときの
防災行動について



手順③ 避難のタイミングと避難先を確認しよう!

ア 下のフローチャートを使って自分の避難先、避難のタイミングを確認しよう



イ 「わたしの避難計画」の空欄に手順③の結果を記入しよう

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された時

手順④ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表時の行動を決めよう!

南海トラフ地震臨時情報とは

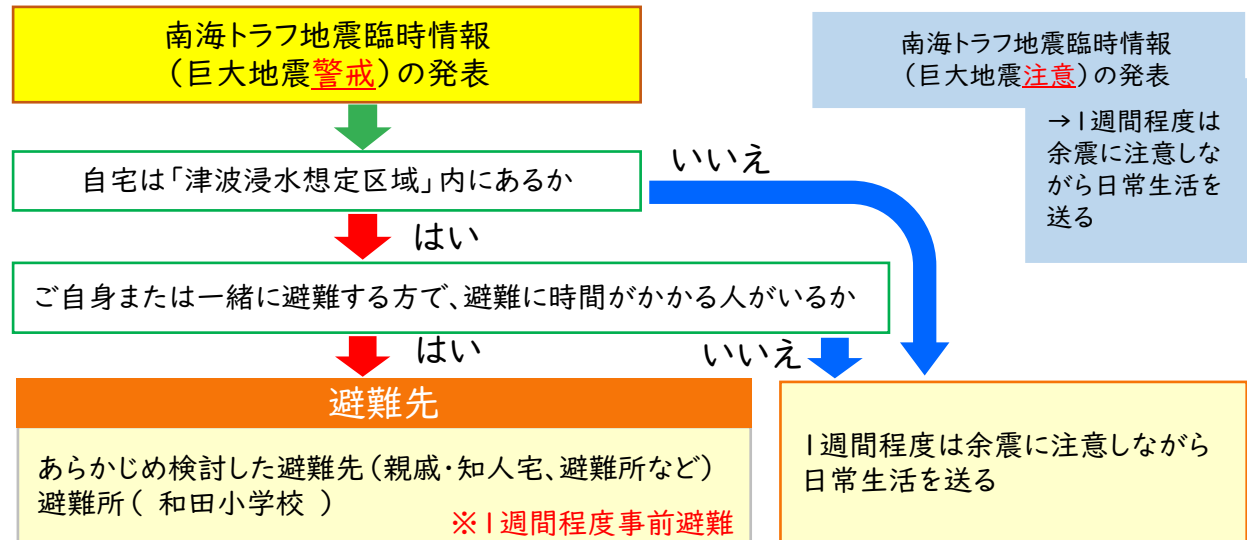
南海トラフ地震の起きる可能性が普段よりも相対的に高まったとき、気象庁から発表されます。(地震を予知する情報ではありません)

南海トラフ地震臨時情報 { 巨大地震警戒
巨大地震注意

和田第21自治会では

津波浸水想定区域の全域が高齢者等事前避難対象地域に指定されています。
津波浸水想定区域に住んでいて、避難に時間がかかる方は、1週間の事前避難が必要になります。

ア 下のフローチャートを使って自分の避難先、避難のタイミングを確認しよう



イ 「わたしの避難計画」の空欄に手順④の結果を記入しよう
(情報収集手段は手順⑥を見て書こう)